

第10回

転換点の見極め ～相場の真髄～

1. テクニカル分析を理解すれば
テクニカル指標はいらない
2. 素のチャートに帰る
型に振り回されない実戦を学ぶ
3. 谷越えを待って買い、山越えを待って売る



1. フラクタルの理解

チャートはどの時間軸でもよく似ている



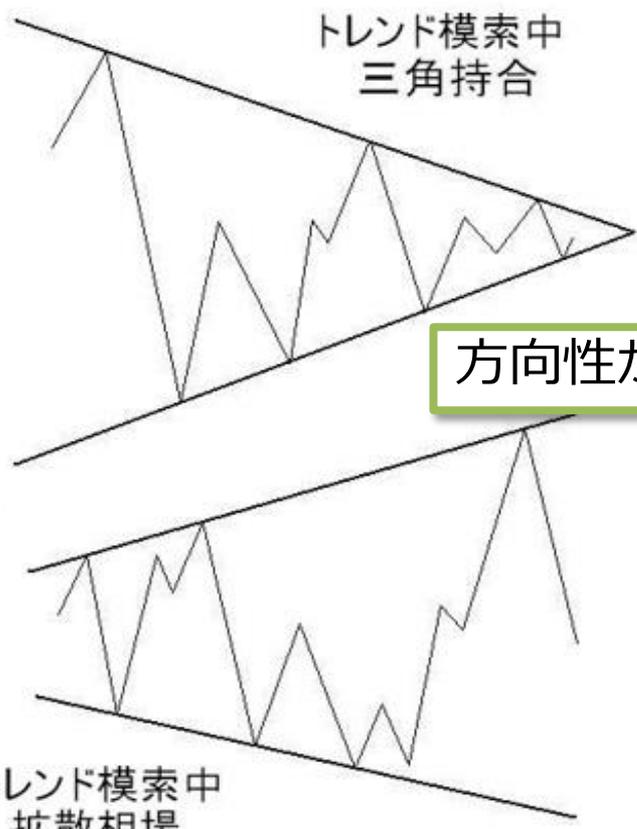
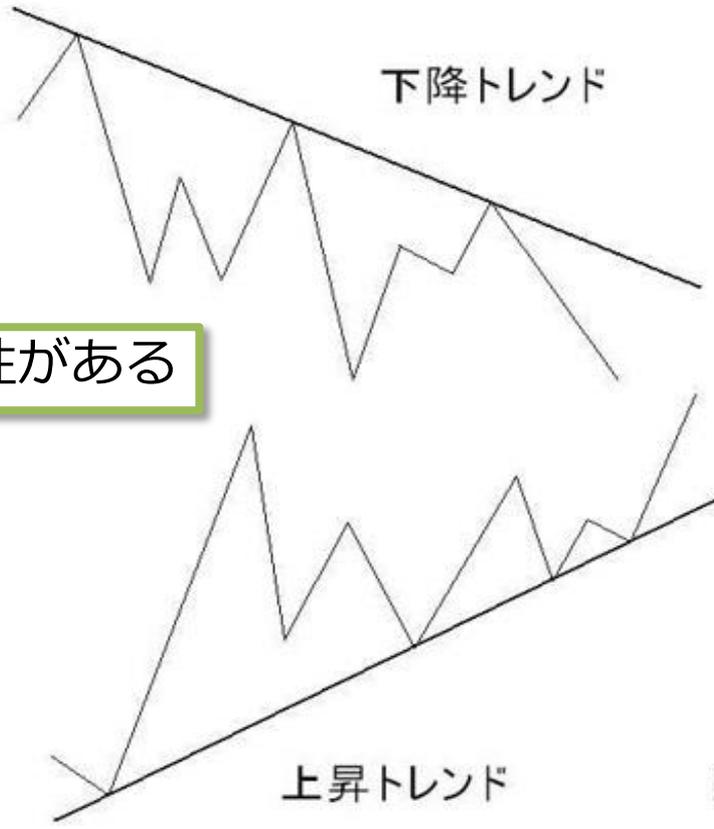
どの時間軸でも山越え、谷越えが狙える



時間軸：チャートはフラクタル（自己相似性を持つ）

1. トレンドライン

チャート・フォーメーション



方向性がある

方向性がない



投資の学校

TOUSHI NO GAKKOU

1. トレンドライン



USD/JPY

設定

日足

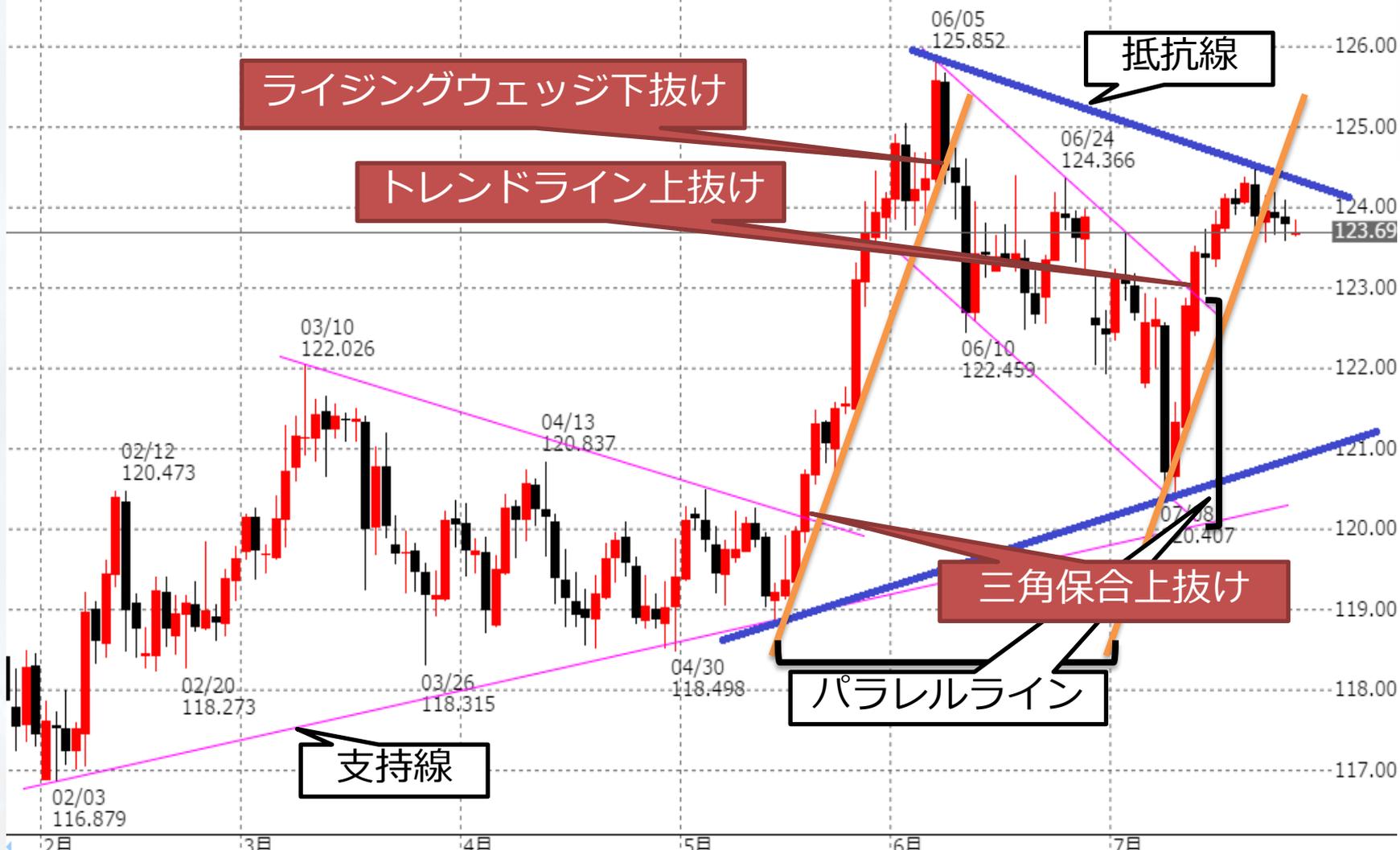
6か月

Tab

2015/01/27~2015/07/27

日付:2015/07/27 始:123.678 高:123.833 安:123.658 終:123.692

Bit



ライジングウェッジ下抜け

トレンドライン上抜け

抵抗線

三角保合上抜け

パラレルライン

支持線

1. ゴールデンクロスとデッドクロス

USD/JPY 設定 日足 6か月 Tab 2015/01/27~2015/07/27

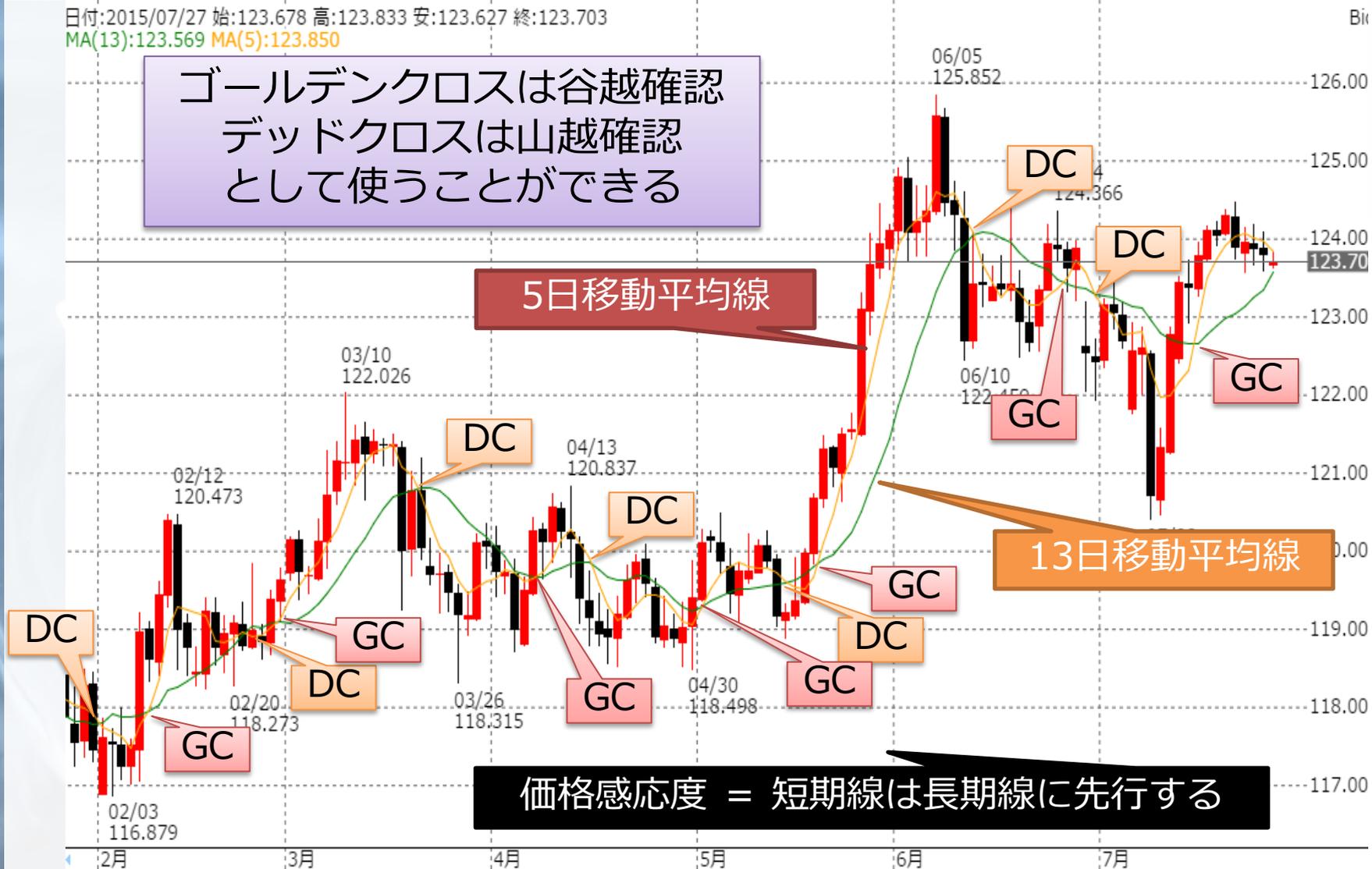
日付:2015/07/27 始:123.678 高:123.833 安:123.627 終:123.703
 MA(13):123.569 MA(5):123.850

ゴールデンクロスは谷越確認
 デッドクロスは山越確認
 として使うことができる

5日移動平均線

13日移動平均線

価格感応度 = 短期線は長期線に先行する



1. 移動平均線と山越え、谷越え

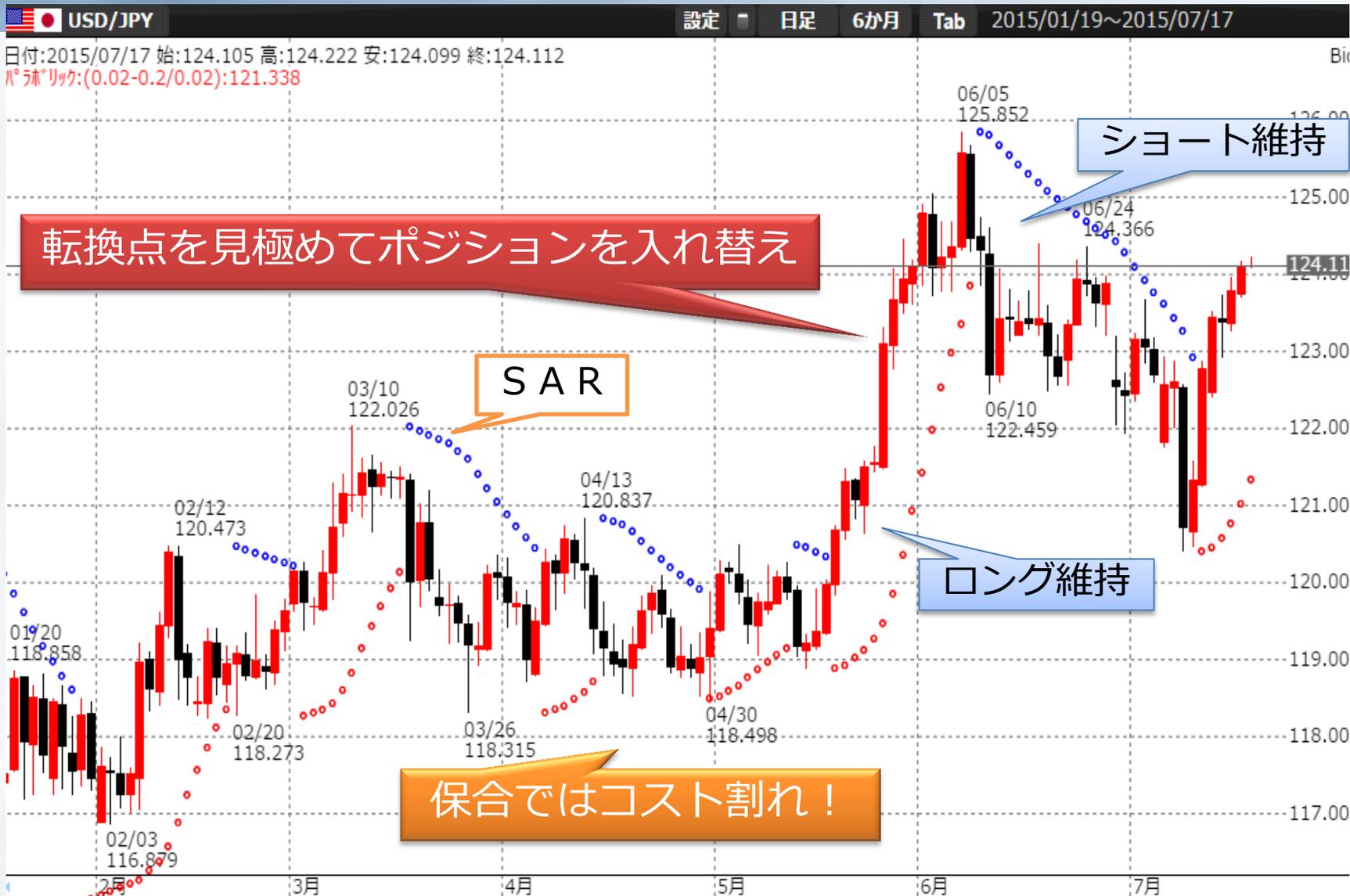




投資の学校

TOUSHI NO GAKKOU

1. パラボリック





1. ボリンジャー・バンド

USD/JPY 設定 日足 1年 Tab 2014/07/18~2015/07/17

日付:2015/07/17 始:124.105 高:124.196 安:124.099 終:124.169
ボリンジャーMA(20):123.072 +σ(2.0):124.830 -σ(2.0):121.313 +σ(1.0):123.951 -σ(1.0):122.192

スクイーズは保合放れを示唆

スクイーズ

価格がミッドバンドを挟んで上下 = 保合

価格がミッドバンドの上：
上昇トレンド
= バンドウォーク

ボージ





1. 一目均衡表

USD/JPY 設定 日足 6か月 Tab 2015/01/26~2015/07/24

日付:2015/07/24 始:123.872 高:124.087 安:123.602 終:123.810
一目(26,9)基:122.438 転:123.695 1:123.046 2:122.175

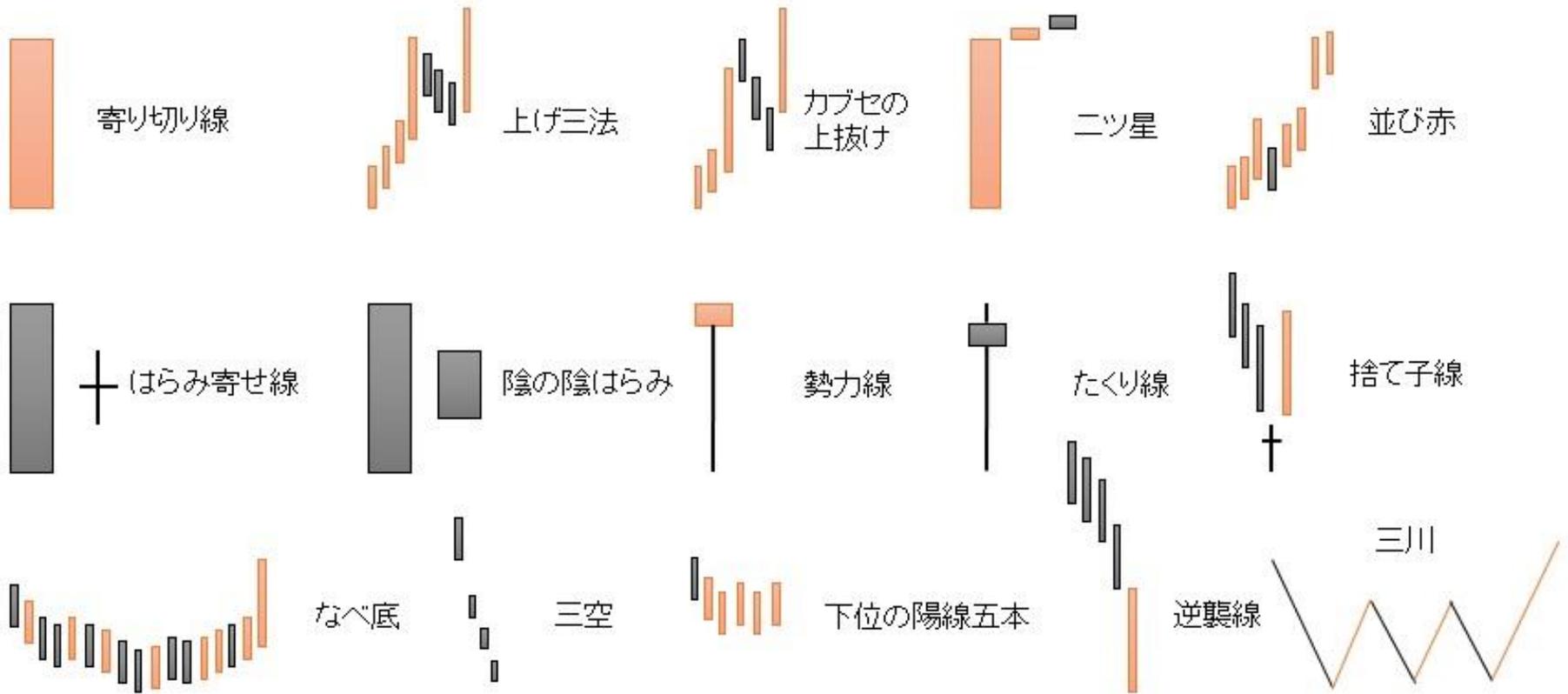
一目均衡表の各線が煮詰まると保合離れを暗示する



各線が煮詰まっている

26日前

1. 酒田五法の買い足

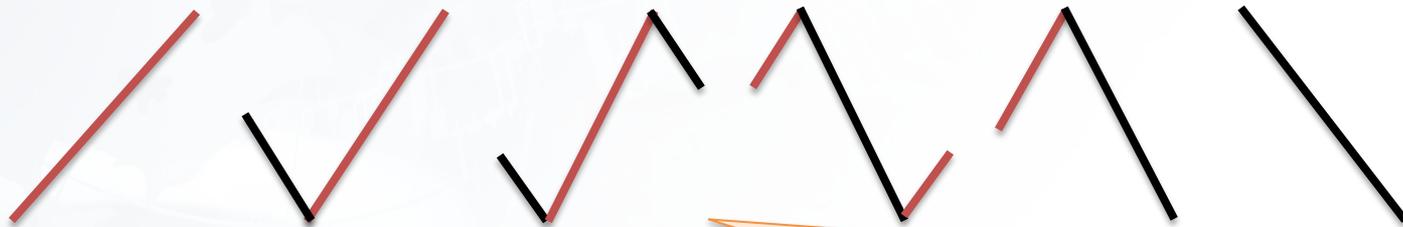
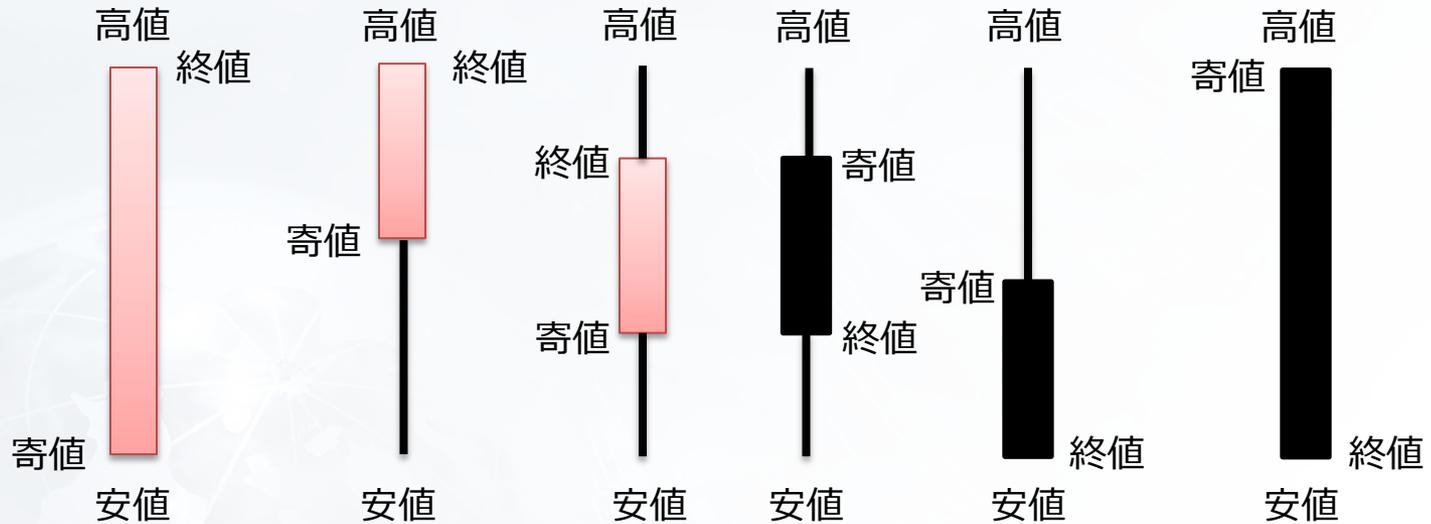


値動きをイメージすれば強弱が分かる

1. 酒田五法とフラクタル

分かりにくい時は、時間軸を伸縮させる

足を合わせて強弱を知る



強い、弱いか、日中の値動きをイメージする



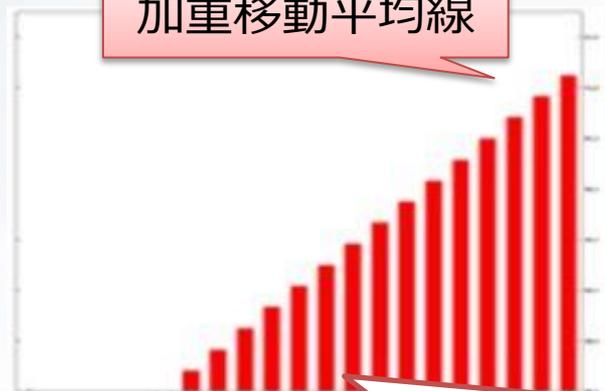
1. 指数平滑移動平均線 (EMA)

指数平滑移動平均線 (EMA) は、加重移動平均線 (WMA) と同様直近の価格により大きな比重をかけることにより移動平均線の持つ遅行性を解消しようとしたもの

WMAの過去の数値にかける比重が直線的に (5、4、3、2、1と) 減少するのに対し
EMAでは平滑定数を掛けることにより放物線上になだらかに減少する

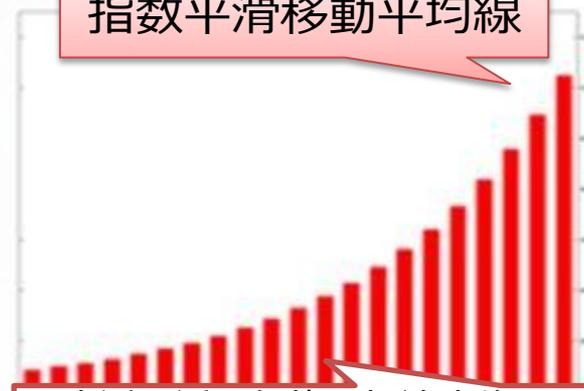
期間的には
EMAのほうが、直近にかかる比重が高くなるのでより短くなる

加重移動平均線



直近に近い価格により多くの比重をかける

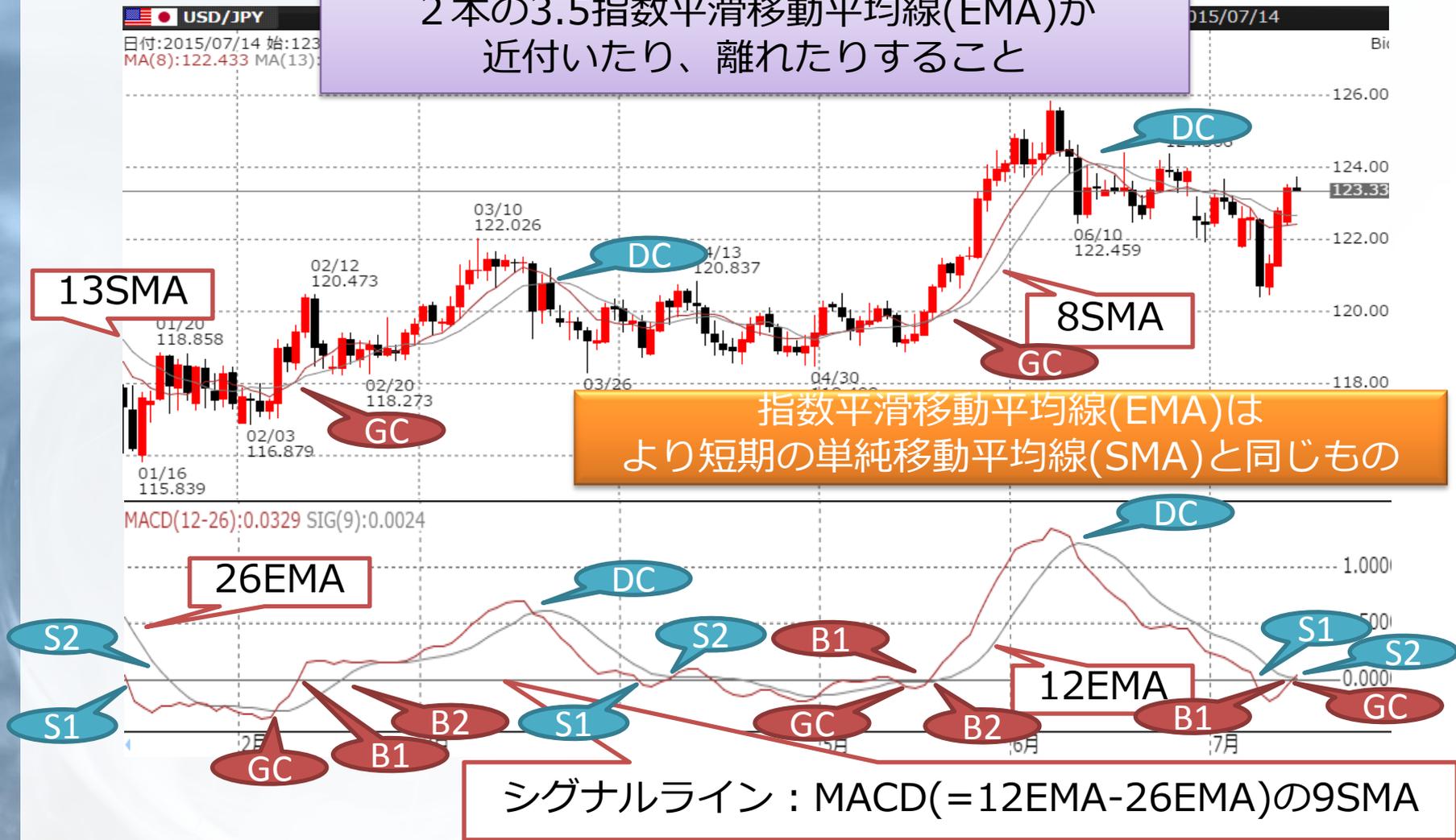
指数平滑移動平均線



直近に近い価格に加速度的に多くの比重をかける

1. MACD

MACD(Moving Average Convergence Divergence)
2本の3.5指数平滑移動平均線(EMA)が
近付いたり、離れたりすること





1. テクニカル指標を理解する



2. 素のチャートに帰る



2. KISSアプローチ

Keep It Silly Simple

「簡単に、単純に考える」羽生 善治 (PHP文庫)

勝者は、複雑なものの考え方をしない！

情報は「選ぶ」より「捨てる」

この手はありえないと、瞬間的に消していく

シンプルに考えることが勝負に勝つ直感を呼び覚ます



矢口 新の
実践！FXディーリングルーム

3. タペストリープライスアクション理論

市場価格はなぜ動くか？

タペストリー第1理論

ここにたった1つだけ条件を与えて、
相場(価格)動かしてください



答え:(相場を上げたい場合)
買い手は売り手よりもポジションを長く保有する

市場価格はポジションの量
と保有期間により変動する

買い手は1年間ポジションを保有できる、
売り手の誰も1日(オーバーナイト)だけ
保有できると条件づけられた市場では、
市場価格は1年間限りなく上がり続ける

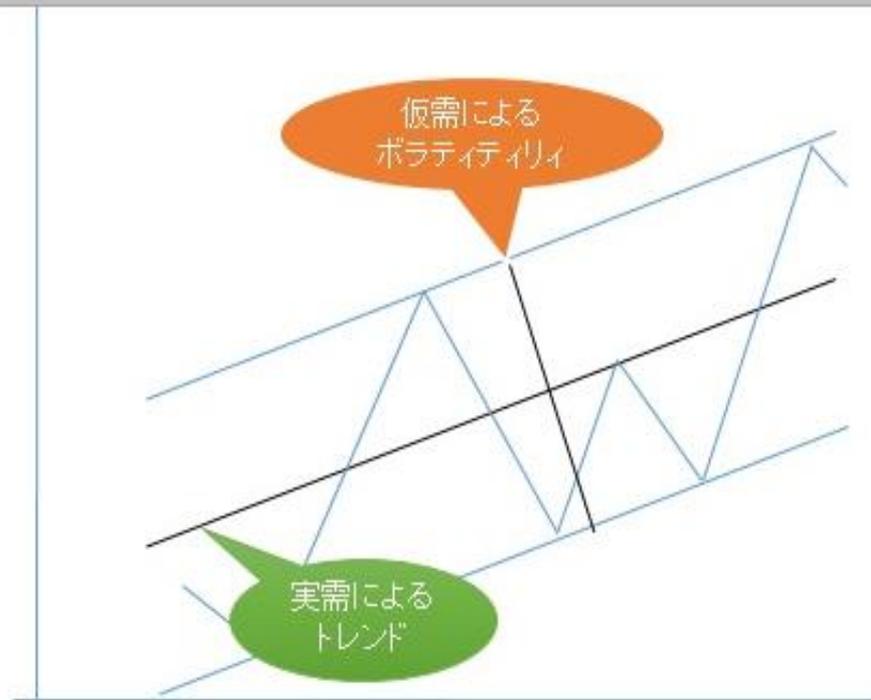
相場での実例
ポジションの保有期間(短⇔長)

日計り⇔売り切り買い切り
ヘッジファンド⇔年金
投機資金⇔投資資金
仮需(ディーラー)⇔実需

3. タペストリープライスアクション理論

タペストリー第2理論

時間制限のある投機資金が膨らませたポジションは必ず閉じられる
大量に買ったものを売り、売ったものを買い戻すので価格波動が起きる



量に制限のある投資資金は長く保有することによりトレンドをつくる

トレンドとボラティリティ

- ・投機は時間に制限があり、投資は資金量に制限がある

- ・投機(仮需)がボラティリティをつくり、投資(実需)がトレンドをつくる

- ・したがって、相場は投機を縦糸に、投資を横糸に織り成すタペストリーとみなすことができる

- ・ある市場で1年で何パーセントかの上昇という場合、価格波動はその何十倍も動いている

- ・レバレッジをかけなくても、上下幅の何倍ものリターンを上げることは可能である

3. タペストリープライスアクション理論

プライスアクション理論

価格がすべての拠り所

- ・キャピタルゲインは価格の変動によってのみ得られる
- ・あらゆる投資尺度、材料は、理論価格収斂型であっても、予測型であっても、価格が反応でして初めて、成否が判明する
- ・投資尺度が正しい場合でも、基礎となる条件が変われば、結果がともなわない場合がある
- ・投資尺度が正しく、基礎となる条件が不変でも、まったく別の要因で失敗することもある
- ・すなわち、「価格の動き」そのもの以外のすべてを完璧に押さえつけていても、価格が思惑に反することのリスクを排除することはできない
- ・したがって、最大のリターンを追求しながら、同時にリスクが最小であるという、最も効率的な運用とは、価格の動きのみに反応することである
- ・これを、プライスアクション理論と呼ぶ

3. タペストリープライスアクション理論

タペストリー・プライスアクション理論

市場価格はなぜ動くか？

タペストリー
第1理論

- 市場価格はポジションの保有期間により変動する

トレンドとボラティリティ

タペストリー
第2理論

- 市場のボラティリティはキャピタルゲイン狙いの「時間制限のある売買」によってつくられ、トレンドは実需や長期投資などの「保有」によりつくられる

価格がすべての拠り所

プライスアク
ション理論

- 市場価格の変動を利用するすべての資金運用で、唯一信頼にたる拠り所を提供するものは、価格の動きそのものである

3. T P A理論：最も効率的な運用

T P A理論で導かれる最も効率的な運用
すなわち、時間効率的に最大の値幅を確保する運用は
時間制限のある（投機的）売買が
完結しつつあるのを見極めることで得られる

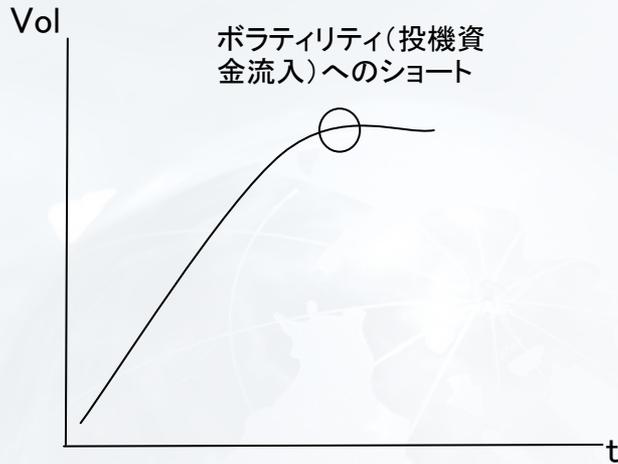
このことは、相場の行き過ぎからの反転を見極めること
「谷越えを待って買い」、「山越えを待って売る」ことを意味する

「谷越えを待って買い、山越えを待って売る」ためには
テクニカル分析を学び
絶好のタイミングを捉える訓練をすることが重要なのだ

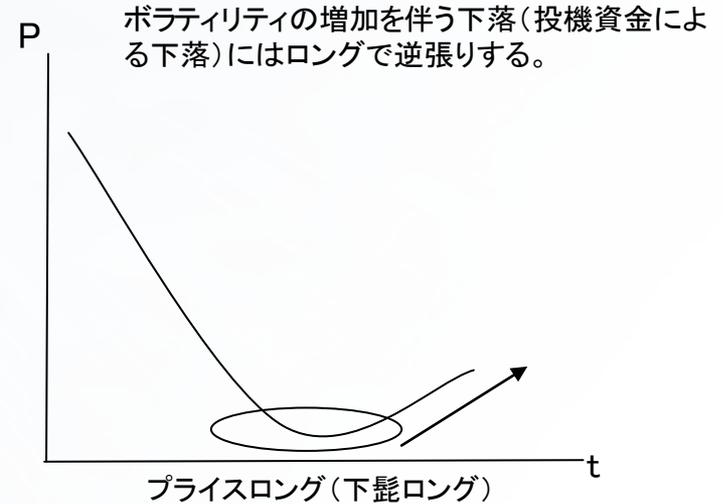
この時、出来高を伴っていると、その信頼性が高まるといえる

3. 運用イメージ①：縦糸戦略

ボラティリティショート



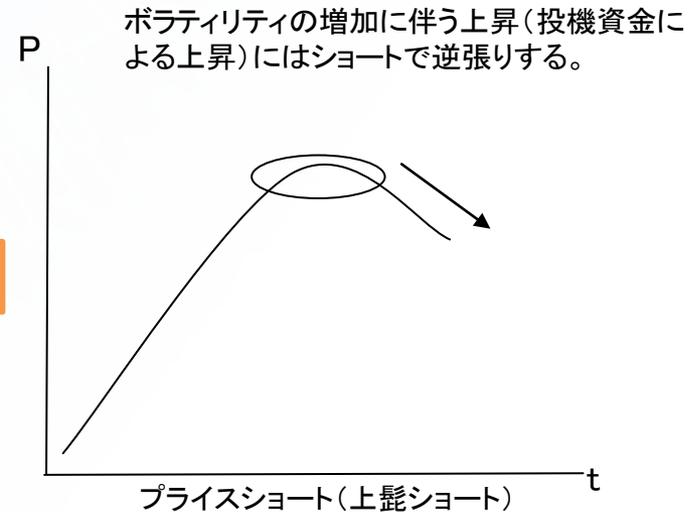
プライスロング



ボラティリティの急上昇は
投機資金の流入を示す

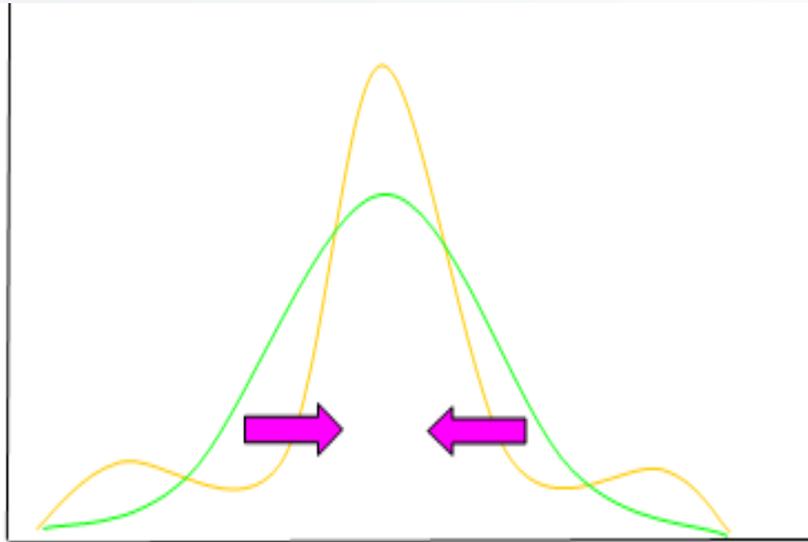
ボラティリティを伴った
価格の急変化後には
投機資金の反対売買が予測できる

プライスショート



3. 運用イメージ②：縦糸戦略と確率

正規分布想定標準偏差と 現実の株式市場



緑色線は正規分布を想定した標準偏差
黄色線は現実の株式市場
矢印は縦糸戦略による逆張り

縦糸戦略では、
ほとんどの銘柄がある地点
(例えば 2σ)で反転する
ことを期待して逆張りする

TPA理論では、
この 2σ (行き過ぎ)での反転は
投機資金の反対売買により
起きると考える

リスク管理として
一律的なストップロスを行う

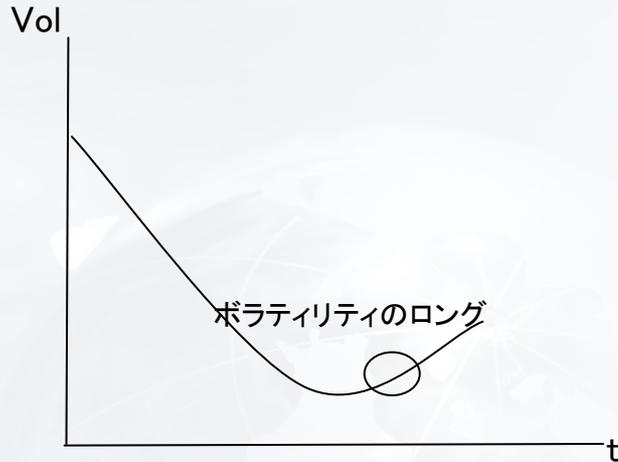
行き過ぎを判断するのに
必ずしも 2σ や 3σ を用いる
とは限らない



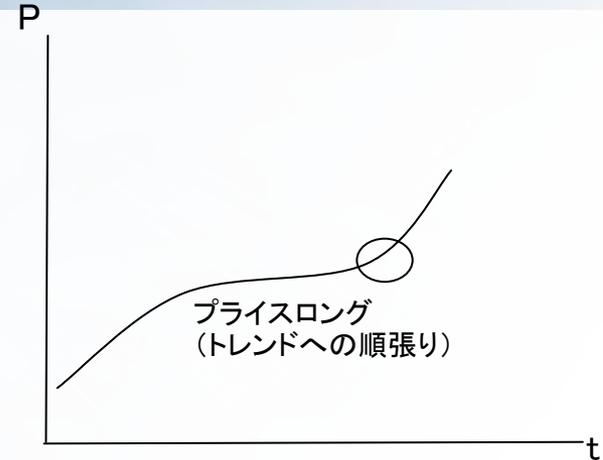
矢口新の
実践! FXディーリングルーム

3. 運用イメージ③：横糸戦略

ボラティリティロング



プライスロング

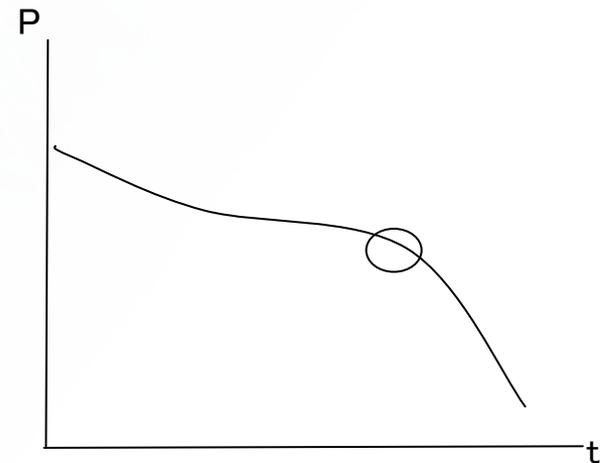


トレンド(投資資金)への順張りとなるが、ボラティリティが上昇し始めたところに乗ることで単なる順張りに比べ、効率良い運用が期待できる。

トレンドに伴う
ボラティリティの減少は
投資資金の存在を暗示する

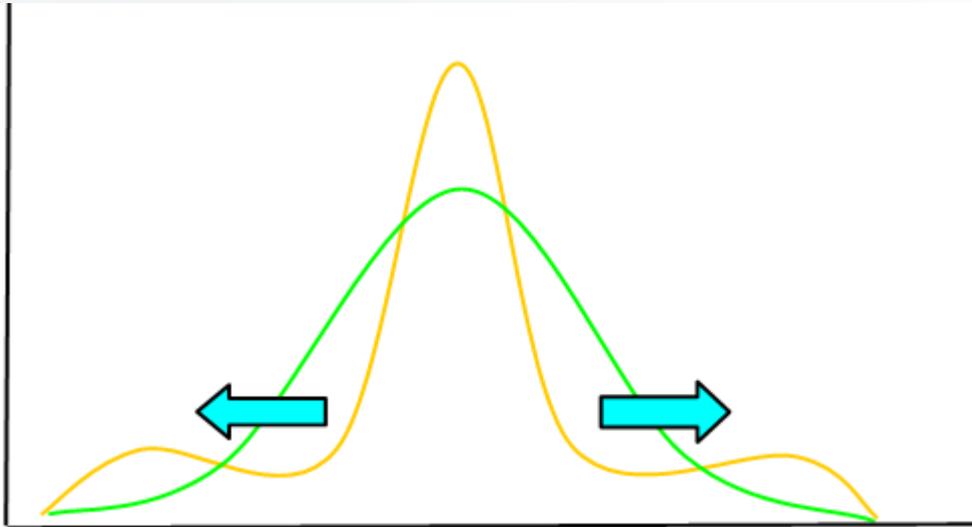
その後
ボラティリティの上昇に伴うと
トレンドに沿った動きが継続する

プライスショート



3. 運用イメージ④：横糸戦略と確率

正規分布想定標準偏差と
現実の株式市場



緑色線は正規分布を想定した標準偏差
黄色線は現実の株式市場
矢印は横糸戦略による順張り

横糸戦略では
投資資金によるトレンドに乗る

トレンドに
投機資金が加わることにより
「行き過ぎ」の状態が出現する
状況を期待する

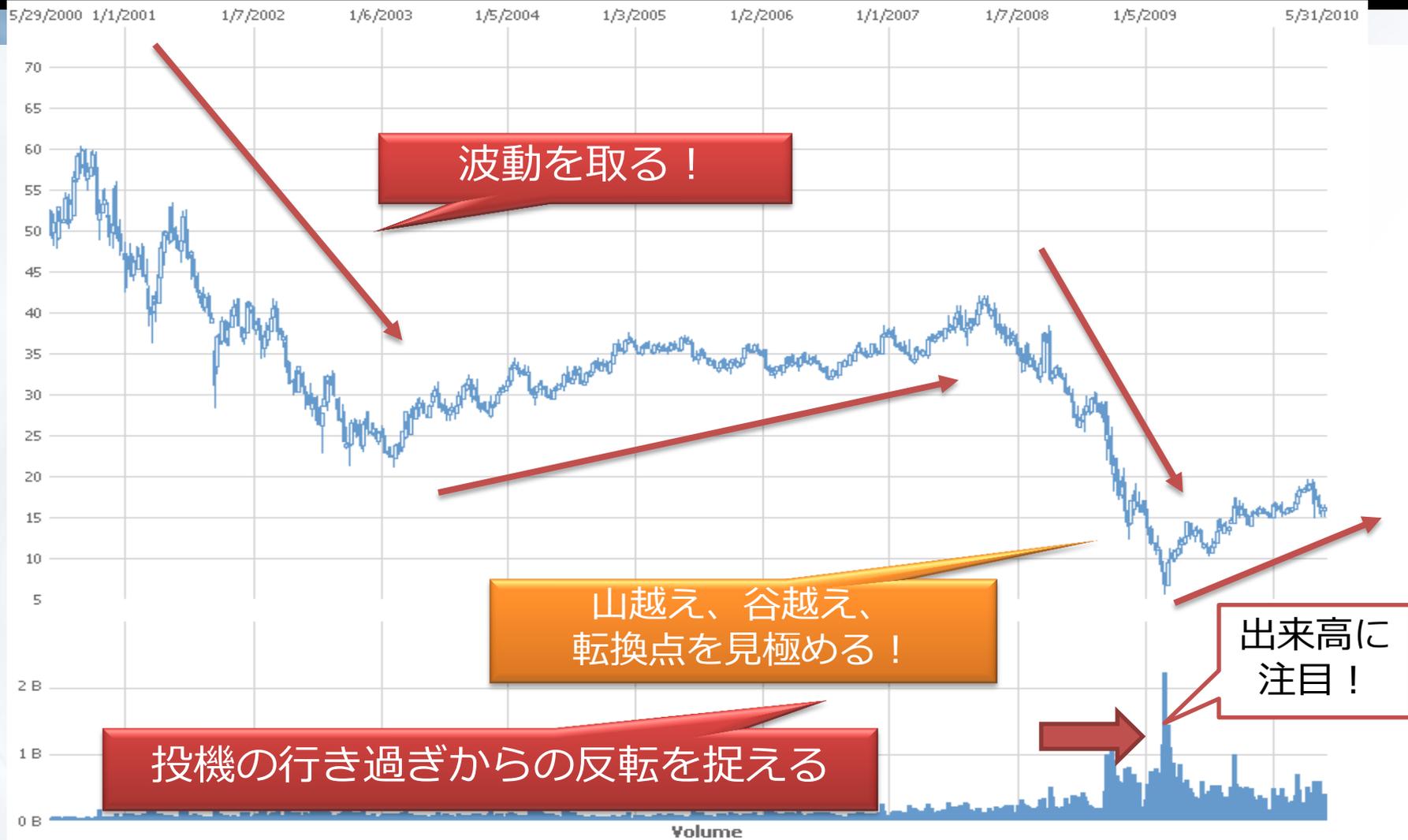
トレンドを取りに行くため
損小利大を目指す
トレーリングストップを用いる

縦糸・横糸両戦略は
損益相殺となる懸念があるが
個別銘柄の行き過ぎを捉え
ストップロスを用いるので
損益は相殺されない



投資の学校
TOUSHI NO GAKKOU

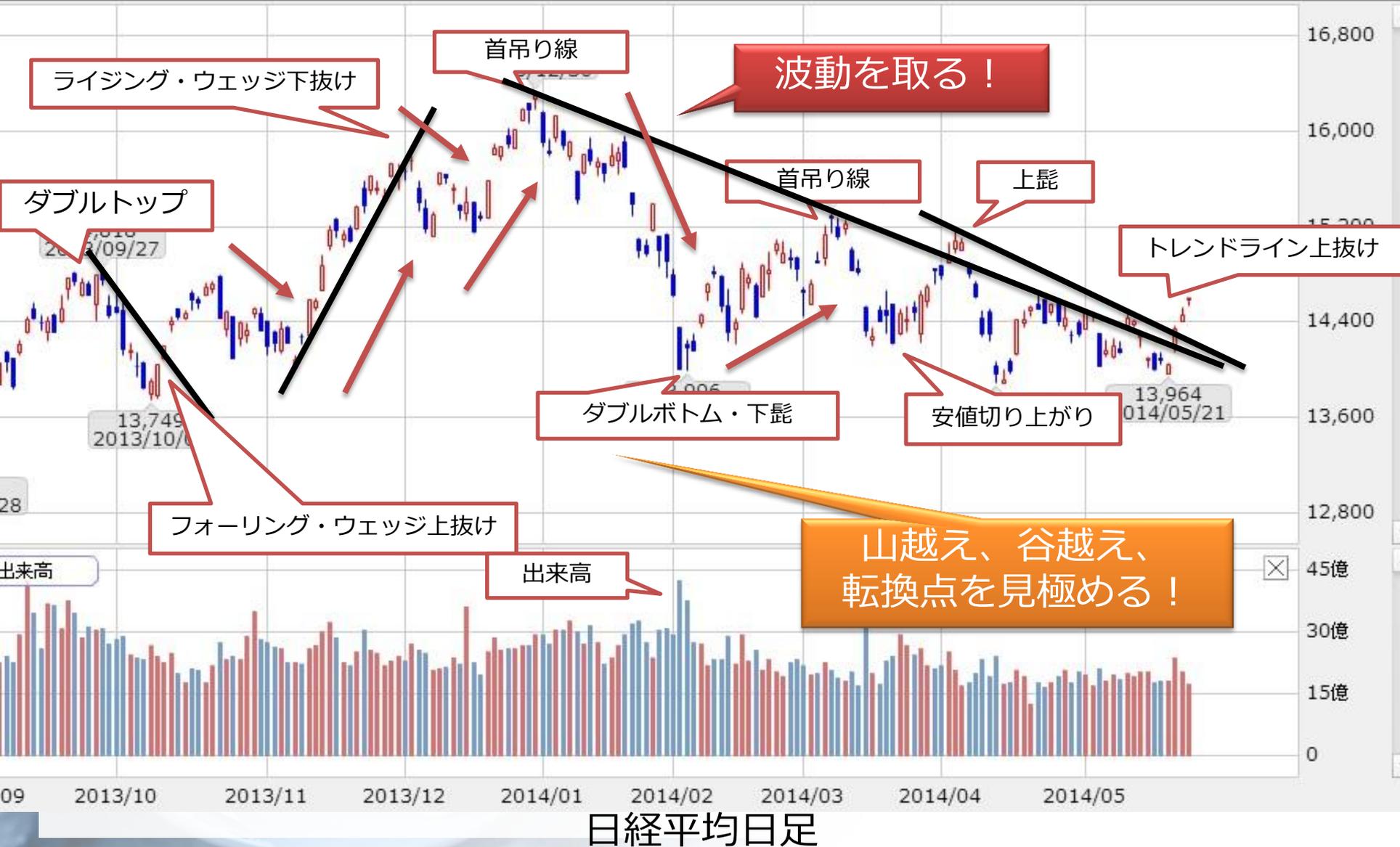
3. 最も効率的な運用



ゼネラル・エレクトリック (GE) 2000年6月~2010年6月

3. 転換点の判断の一例

日経平均株価 大証 日足



3. リスク管理：谷越確認の買いの損切り



3. リスク管理：山越確認の売りの損切り





投資の学校

TOUSHI NO GAKKOU

3. リスク管理：利食いと損切り

USD/JPY 設定 日足 6か月 Tab 2015/01/28~2015/07/28

日付:2015/07/28 始:123.236 高:123.307 安:123.077 終:123.118

月間目標2.5%：毎月
運用資金 ¥ 100,000 → ¥ 2,500

利益が他のトレードの
リスクをカバーする





3. 転換点の見極め



どの時間軸でも山越え、谷越えが狙える

